Argon Medical Devices

プラネクタ®

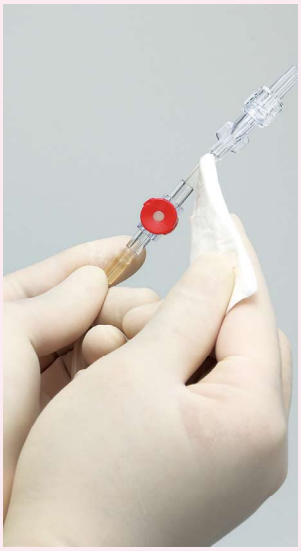
採血手順 & セットアップ手順

観血式動脈圧測定 プラス 採血システム

プラネクタ®付き血圧モニタリング・キット

採血手順

1



施設の基準に従い、アルコール（消毒用エタノール等）でセプタム表面を確実に消毒します。

2

赤色コックを、トランスデューサ側が〈オフ〉になるように切り換えます。

3

容量いっぱいにゆっくりとアスピレートシリンジを引き、圧ライン内に血液を吸引します。

4

赤色コックを患者側が〈オフ〉になるように切り換えます。

5

血液サンプリング用のシリンジをプラネクタ®に垂直に挿入します。

注意
必ずルアスリップシリンジをご使用ください。

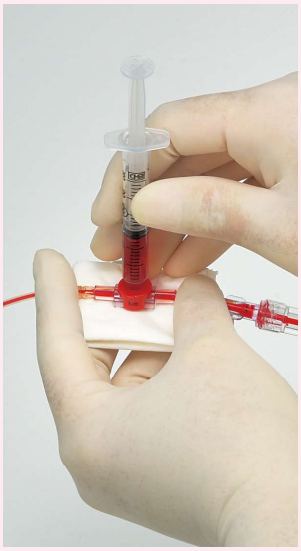
6

必要量の血液を採取します。

注意
血液ガス測定には専用シリンジの使用をお勧めします。
採血中はシリンジを保持してください。

Argon Medical Devices

7



採血後は指をそえるなどして、ゆっくりとシリンジを引き抜きます。

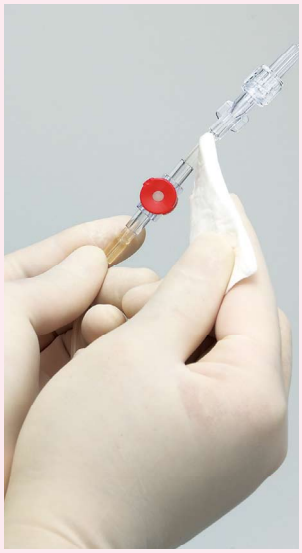
9

赤色コックをシリンジ側が〈オフ〉になるように切り換えます。
必要に応じて急速フラッシュを行い、圧ライン内に血液が残らないよう管理してください。

推奨

別売のPNロック・アダプタを使用するとプラネクタ®への接続（取付け/取外し）が安全かつ容易に行えます。

10



再度プラネクタ®を消毒し、セプタム上に血液が残らないように管理します。

8

赤色コックをトランスデューサ側が〈オフ〉になるよう切り換え、アスピレートシリンジをゆっくりと押し戻し、血圧チューブ内の血液を患者に戻します。

注意

- 採血前後の消毒にポビドンヨードは使用しないでください。ポビドンヨードを用いると折出物がセプタム内部に侵入したり、セプタムの着色や膨潤の可能性があります。
- 採血時のシリンジの抜きさしはゆっくりと行ってください。シリンジを早く引き抜くとプラネクタ内部に陰圧が加わり、空気が混入する可能性があります。
- 溶血を防ぐため、採血する時は1mL/秒以上かけてゆっくりとシリンジのプランジャを引いてください。
- ディスポーザブルシリンジの場合は、シリンジをセプタムから抜いた瞬間に、シリンジバレル内の空気が血液を押し返すため、シリンジ先端から血液が漏れることがありますので、採血専用シリンジの使用をお勧めします。
- その他の使用上の注意に関しては、製品の添付文書や取扱説明書をご参照ください。

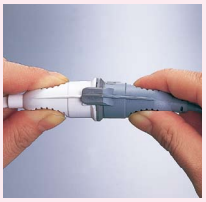
セットアップ手順　● プラネクタ®付き血圧モニタリング・キット

セットアップ時の注意事項

◆プライミング前に、全ての接続部分に緩みがない事を確認してください。
◆製品はエチレンオキサイドガスで滅菌されていますので、開封後は常に清潔を保つようにしてください。
◆血圧チューブ先端の白色の通気キャップは、プライングが終了するまで、取り付けたままにしてください。

（準備するもの）
- ●プラネクタ®付きキット
- ●インターフェースケーブル
- ●生理食塩水
- ●加圧バッグ
- ●その他：ベッドサイド・モニタ、留置カテーテル、ヘパリン

1 プラネクタ®付きキットとインターフェースケーブルとの接続



●矢印を合わせて接続します。
●モニタでゼロオフセットできることを確認します。

注意 プライミング後にケーブルを接続する場合、コネクタ部分が生理食塩水で濡れないよう、青いキャップを付けたままにしてください。

2 ヘパリンの注入

●医師の処方に基づいて必要な単位のヘパリンを生理食塩水バッグに注入します。

注意 この時点では注入後のミキシングは、行わないでください。

3 輸液セットを輸液バッグに挿入する

4 輸液バッグ内の空気抜き

●輸液バッグのゴム栓部を上にして、フラッシュキャップ部分を摘みながらバッグを押し、空気を抜きます。
●輸液セットのチャンバ内の屈曲型針が浸るくらいに液が出てきたら、バッグを180度回転します。
●ヘパリンのミキシングはこの時点で行ってください。

5 輸液バッグを加圧バッグに取り付け輸液スタンドに吊り下げます。

●輸液セットのチャンバ内の液量は1/3～1/4とします。
●この時点では加圧バッグの加圧は行わないでください。

6 輸液セット、トランスデューサシステム（アスピレートシリンジ、血圧チューブ、プラネクタ®）への充填

〈写真1〉

●輸液セット側が下になるようにしてフラッシュキャップを摘みながら輸液セットのチューブに、気泡が残らないように液を充填します。〈写真1〉。

注意 輸液セットのチャンバの下部を軽くたたき、フィルタの下側の気泡も取り除いてください。

〈写真2〉

●充填は落差を利用して行うと気泡が残りません。また、気泡がどうしても抜けない場合には、軽く叩きながら徐々にフラッシュしてください。

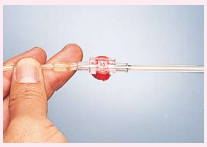
注意 強くたたきすぎると気泡が細かくなり逆に抜けにくくなります。

〈写真3〉

●大気開放用三方活栓のイージーベントキャップを緩め、三方活栓内の気泡抜きを行います〈写真2〉。

●フラッシュキャップ部分を摘みながらアスピレートシリンジ内を充填します〈写真3〉。

●アスピレートシリンジ内の空気を生理食塩水と共に血圧チューブ側に押し出します。



●続けて、プラネクタ®及び血圧チューブを充填します。

注意 プラネクタ®部分をプライミングする際には、セプタム面を下向きにしてエア抜きをしてください。

7 加圧バッグの加圧

●加圧バッグを300mmHg（40kPa）に加圧します。

8 注　意

●輸液セットの点滴レートが2～4滴／分（マイクロドリップタイプであるか確認して下さい。また、同時に液漏れの有無も確認してください。

●測定開始30分後及びそれ以降定期的に加圧バッグの圧、点滴レート、液漏れの有無を再確認してください。

販売名：血圧モニタリング・キット
医療機器承認番号：15800BZY00559000
プラネクタ®は株式会社ジェイ・エム・エスの登録商標です。

Argon Medical Devices

製造販売業者
アルゴンメディカルデバイスズジャパン株式会社
〒103-0013　東京都中央区日本橋人形町2-13-9　ダヴィンチ人形町

◆注文・納期・在庫のお問い合わせ
受注センター　Tel. 03-3662-2240
Fax. 03-3662-2241

◆製品関連・資料請求
お客様AZセンター（製品に関するお問い合わせ AからZまでお答えします）　Tel. 03-3662-2570
Fax. 03-3662-2565

AMD-004-00
R0-1107-001-215